

## 第93回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年6月22日（水）14：00～15：50
2. 場所：KKRホテル東京 11F 白鳥
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小野委員、小幡委員、菅原委員、  
玉木委員、山崎委員
4. 議事要旨

### （1）運用の状況及び運用リスク管理の状況（令和3年度）について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和3年度の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・アクティブ運用を行うことで情報が取れて市場に対しての理解を深めることができるが、アクティブ運用の平均はインデックス（パッシブ）に負ける。また過去のリターンは将来のリターンと相関しないとファイナンス研究的に言われており、良いファンドを選ぶのは難しいことから、増やすことには抑制的であるべきである。
- ・アクティブ運用の実態を率直に説明することは続けていただきたい。
- ・ESG投資については、昨今の世界情勢の影響から、投資対象の銘柄が下げ対象外の銘柄が上がるなど、上手くいっていない状況であると認識しており、投資に際しては慎重になっていただきたい。
- ・オルタナティブ投資は、やるのであればマーケットを良く見て上手く機会をつかんでほしい。
- ・相場の下落が続くなど国内外共に運用環境としては難しい状況にあり、リバランスを頻繁に行うことは、簿価を下げるという意味でも非常に良いと思う。長期投資の視点を崩さずにリバランスしてほしい。
- ・全ての資産が落ち込んでいる状況では、少なくとも短期的には、出来るだけ短期資産で持っておいた方が良い。
- ・今後円高に振れる可能性も考えると為替リスクが心配である。為替ヘッジ

する必要はないと思うが、為替リスクについて過去の事例と比較するなど検討しても良いのではないか。

(2) 令和3年度 業務概況書について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和3年度の業務概況書について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

以 上